



理容 やまがた

—発行所—

山形県理容業
環境衛生同業組合
〒990 山形市清住町3-2-65

電話 0236-45-3525

発行者 富樫富太郎

編集者 長沼日出夫

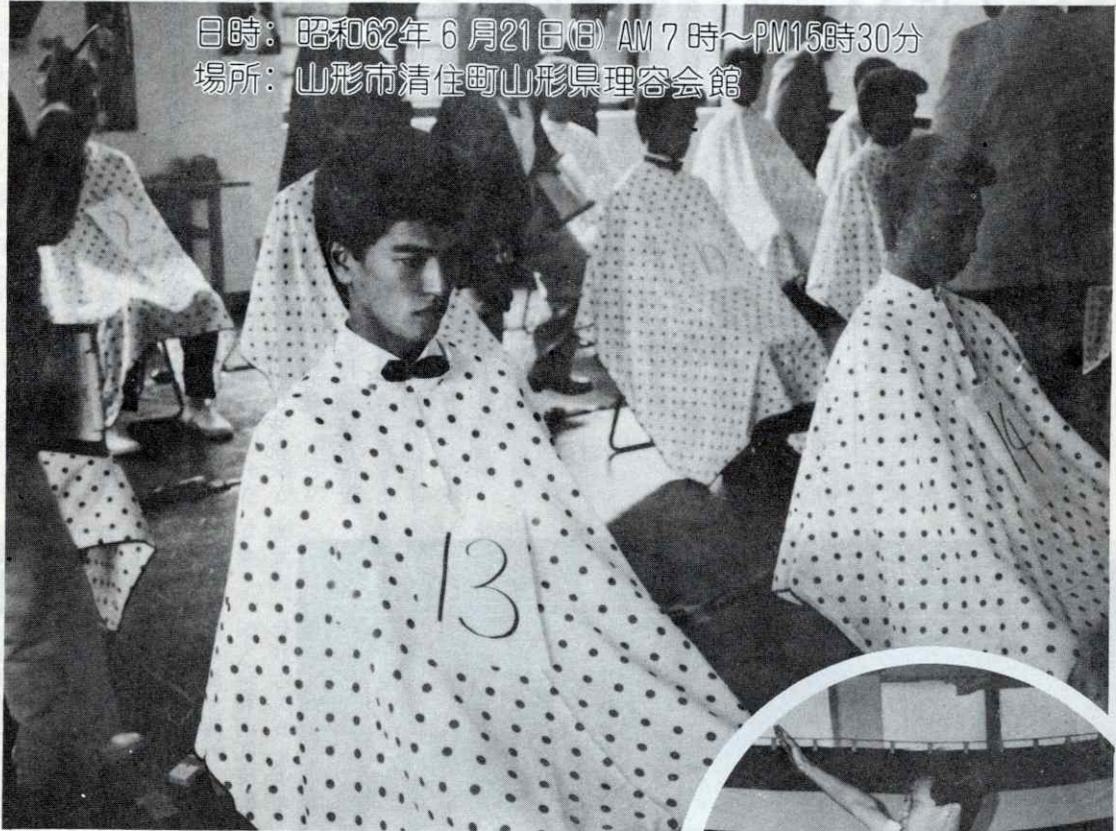
購読料 1部10円毎月1回発行

組合員の購読料は賦課金の中に含まれて居ります。

第26回山形県理容競技大会 第12回理容師の主張山形県大会

日時：昭和62年6月21日(日) AM7時～PM15時30分

場所：山形市清住町山形県理容会館



五輪大会出場選手
優勝 梶井 浩二

理容師の主張

優勝

富樫 みち子

「題」専門家としての理容師への道
東北大会へ頑張って、

藤島支部 加藤君の選手宣誓

〆第一部

「ベアシックアイニング」

優勝 庄司 俊也
(酒田支部)

準優勝 佐藤 力
(寒河江支部)

第三位 岸 昭雄
(最上支部)

敢斗賞 齊藤 美重
(山形支部)

須藤 京子
(寒河江支部)

村川 弘安
(北村山支部)

辻 耕一
(寒河江支部)

松浦 好美
(山形支部)

渡辺 齋
(藤島支部)

〆第二部

「レディスカットヘア」

優勝 渡辺 雅子
(上ノ山支部)

準優勝 永沢 清志
(最上支部)

第三位 滝花 茂
(北村山支部)

敢斗賞 岸 てい子
(最上支部)

相蘇 永美
(藤島支部)

〆第三部

「ヤングタウンヘア」

優勝 松田 通
(フリースタイル)

準優勝 稲垣 義晴
(寒河江支部)

第三位 大山 由利
(北村山支部)

敢斗賞 志田 好春
(酒田支部)

長南 久明
(藤島支部)

赤塚 春雄
(鮎海支部)

渡部 千喜
(藤島支部)

齊藤 隆之
(鶴岡支部)

以上全国大会種目

〆第四部

「メンズヘアウィック」

優勝 大場 浩
(北村山支部)

準優勝 鈴木 信子
(東村山支部)

第三位 荒井 順子
(北村山支部)

敢斗賞 柿崎 志穂
(鮎海支部)

齊藤 由美
(山形支部)

安会 明子
(北村山支部)

梅津 敏博
(山形支部)

敢斗賞

笹原実栄子
(山形支部)

高橋 千佳
(寒河江支部)

矢作美千代
(上ノ山支部)

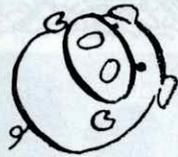
本間 陽一
(寒河江支部)

武田あゆみ
(藤島支部)

加藤ひとみ
(寒河江支部)

富永季代子
(山形支部)

以上山形県種目



がんばれ新人、まけるなベテラン

県理容会館二階会場に競技開始二分前のタイムを告げるお願いしますの声高々に開会式の緊張も解れない選手、早くも熱気あふれ、第一回戦とは思えぬ大会ムード、見守る荒井監視員、身をまるめて競技に挑む若い選手。重って身



厳しい事前審査

を乗り出す観客。川越、前田矢作、佐藤、渡辺、佐藤、西尾、庄司、鈴木、半田、高橋荒井、大場、加藤、今井、菅野、保科、本間、高橋、山口大場、近野、長沼、横山、後藤、鈴木、後藤、三浦、菅原宮長、大沢、安会、香沢、長沼、加藤、白根、加藤、大江紫崎、大場、安達、峰田、柿崎、渡部、市川、橋本、岡部

高橋、後藤、渡部、大滝、高橋、武田、鈴木、池田、工藤前田、那須、齊藤、五十嵐、齊藤、の各選手、早くも秒刻み。五四三二一、やめーっ。審査員室が急にざわめく。特に審査員は厳正に襟を正して望むこと。又選手の力量を汲み取って、の仲條審査委員長の訓示が聴いたのが審査員も仲々厳しい顔つき。ペテランはその割ではないが新人類審査員は直立姿勢で審査表が揺れている感じ緊張が見られる。競技を終えて帰る選手にインタビューする。

長沼選手（山形）皆んなうまく見えた。自分の練習の全てを出しきれずに終わった。

柿崎選手（山形）会場が狭かったがとても充実した。出場して良かった来年もきつと出場する。

齊藤選手（飽海）我を忘れて時間があつと言う間に終った。とても良い経験である。来年もかならず出る。

庄司選手（北村山）余りにも緊張した。今いちだった。今、秒を刻むタイムに掛けて励んだ日々の全てを終え、通路を去る若者に拍手を贈り素直な笑顔に声援を贈りたい

第二会場はフリースタイル競技開始三分前、富樫副競技部長の声。優勝を狙うペテラン選手と若手ホープ、大変な戦いらしい。会場は窓をさす明るい陽射し、色彩豊かな男性美、町行く女性もきつと振向くかもしれない。

メイクもばっちり、原宿山形彼女と二人連れ。淀野、後藤、大山、太田、高橋、東海林、高谷、松田、渡辺、稲垣渡部、齊藤、長南、渡部、今野、志田、赤塚の各選手、ベストを尽している。

第一会場、審査タイム二十分経過、目が厳しい。特に伊藤、植松、梅津、渡部、細谷の新人類、佐藤（喜）佐藤（保）、布施、五十嵐、菅井のペテラン類は割にのんきに見える。各審査員も監視する高橋、安足、荒井、に鹿野監視委員長の指示伝達、選手の努力を見る目で仲々その場から離れない細谷審査員、汗だくの渡辺審査員、選手だったら気楽な感じ、何んとなく責任を感じてみたい。

飽までも気真面目な伊藤審査員、神経を擦りへらすかも知れない、赤ヒゲをピクピクさせ筆を取る。黒に総めてダ

今年度から全理連の課題がなくフリースタイル。世界大会日本会場の準備作品である。山形県から世界大会出場選手がほしい頑張れ!!

残り少ないタイムに掛けてタイム終了五秒前長沼広報部長のカメラのシャッターの音バッチシカンカン。その間守谷県議激励訪問、富樫理事長御案内、フリースタイルタイム終了、甲乙付けがたい作品の数々見事に美を追求している力作、松田、稲垣一歩リードの感あり、五輪選手の梶井君はなんとか頑張りた。今国制覇を願う観客にお答えするペテラン長井支部稲垣、平常の身で戦った自分の作品に

悔はない。優れた作品を審査する最高潮を告げる。静かな会場は優秀作品の前に集っては離れる現象から寒河江松田かなと思う間もなく交差する審査も中間インタビュー。審査員室は疲れがどっと出たらしい。先輩諸先生の苦労が良く分るとタオルを手にする伊藤、渡辺、植松、梅津の審査員、細谷審査員はタフのようニッコリ笑った顔が可愛い

ペテラン組佐藤・五十嵐、佐藤・管井組は答えもはっきりしている。レベルは上ったしかし全体的な流れを考え全国大会に勝てる作品、特に毛先の処理が悪い。素晴らしい作品もある。しっかりしている。

第二会場は第二回戦の基本「ペーシックアイアニング」



カット二十分経過、山口、松浦、明日、斉藤、村川、水沢岸、須藤、佐藤、辻、佐々木管野、加藤、渡辺、庄司、五輪選手梶井の各選手、基本があつてフリーがある。業界のあるべき技術大会の華の蔭に地味でいながら隠せない技術ベシックススタイル技術者として最も大切な、しかも必要な技術がアイロンに入る。独特の香りが会場に漂う。

基本はいいなアと肩越に汗を拭く中年紳士目がある。んと思つた。九番須藤、四番明日、十四番斉藤の各選手、男性に負けてたまるか女性時代頑張つてる。ペテラン庄司、村川、岸、多少前進加藤選手フリースタイルから基本に挑戦、開会宣言も長かつた。タイム三秒前富樫競技副部長の目がキラッと光る。もつと時間がほしいフロントの荒を悔む選手の背に選手退場のアナウンス。

齊藤選手(山形)練習不足で思うように型が決まらなかつた。来年頑張る。と私に美しい瞳を曇らせた。梶井選手持てる力を充分發揮出来なかつた。又ひとつ新しい課題が出来た。ヘアースタイルのバ

ランスが難しい。この機会に勉強する。えらい。基本は任せてと言う顔で一礼しモデルの左右にちらばる佐藤(喜)、管原、布施の各審査員に佐藤(保)ネック処理、刈上げ部が多少荒い感じ富樫理事長のコメント、心配された選手の数も、参加が多くしかも狭い会場に集つてくれた感謝の気持だ。技術面では余り感心しないが一生懸命努力しているその選手のその姿に拍手を贈りたい。ありがとう未来の優秀な選手に成つてほしい。まアこの会場で行つたことに組合員の連体感も強まると思う。まアたしかに会場は問題があるしかし若い選手特に新人で優秀な方がめだつ。このまま県としてのレベルを上げて頂き全国大会にひけを取らない選手に成つてほしい。理事長我が子、我が孫を見る目優しさが口元にあり、最高指導者としての愛情がこぼれる。さすが理事長、うれしい。選手に早速伝えた。松田競技部長、たしかに狭い会場で問題はないと言えない、しかし、大変スミーズに進行している。特に若い新人選手の優秀な点が目

立つ県のレベルアップをして頂きたい全国大会も同じく。一柳講師会村山ブロック会長の重い声レイ布施、佐藤(喜)管原、佐藤(保)、五十嵐、細谷審査員のコメント基本技術は刈上げの面が悪いネック処理の荒が指摘される現在迄の競技種目で最低の悪さ、もつと基本を研鑽してほしい。期待する作品なし。

「厳しいですね先輩」
第三回戦「レイスカットヘア」とにかく美女の出場。レイイスはいいなアと目を細める布施審査員、手元をしつかりして顔の美にとらわれず採点して下さい。

渡辺、滝花、永沢、阿部、秋山、上林、相蘇、岸の各選手、ヨォーイ始め、レイイス開始素敵な女性は身から出る又生れる、センスの戦い華やかな中にも女性の魅力をかもし出すとして男性の心捕えるそんな女を作る。モデルも協力緊張の連続、カラーリングの上達が目立つフェイストラインにそつてカットする選手フロントを取る選手、まず楽しみ、コメント植松千代ちゃん、競技会に参加する方が多くなつて大変嬉しい、ニッコ

り笑顔は美人顔、タイムカット二分前、ペテラン滝花恋の花、大田広美、シンプルなスタイルでごたごたしなくて良い、あたしも勉強して来年出場し頑張る、若い美しい瞳で輝いて僕をじつと見た。はずかしかった。だがとても嬉しかった。後二十五若かつたらと思つた。

今年度の県大会に花を飾る種目レイイス選手皆んな静かな会場にベストを尽している頑張れ優れた技術の全てを尽せと口ぐさむ。終了一分前。

第一会場に第四部第五部の選手入場する真近のペテラン選手、注意事項を聞く若者らしい良さを知る。メンズヘア齊藤、梅津、結城、狩野、井上、星川、原田、大場、本間駒沢、荒井、早坂、安喰、松田、山崎、伊藤、鈴木、吉田大久保、小山、長沼、丸山、羽賀、上野、成沢、工藤、遠田、難波、菊地、佐藤、後藤木島、富樫、小林、柿崎の各選手、

第五部、レイイスヘア、石塚、角屋、阿部、の各選手一線スタート。

コメント、富樫競技副部長競技の内容は狭い会場ながら割合順調に運ばれている。又若い選手が多くなつて喜ばしい。今後山形県のレベルアップに全力を注いでほしい。

レイイス会場は花盛り終了近し秒読みの段階、何んとなくいい顔をする審査員、私は分る。カラーの色彩は優れて来ている。メイクを落すまといと丁寧に毛を払う各選手最後の仕上げ、エアリングをつけるモデルも選手に協力、タイム終了次々に刈布を取り手を上げる。戦いは終つた。自分の持つベストを尽した選手の退場、ペテラン滝花選手自分なりにポイントの荒さが目出つた。神達真理子さんモデル初めてのモデルで緊張した大変良い経験に成つた。来年も成りたいスターの気分。保科昭一君モデル、何んとなく不安だった選手に良い作品であつてほしい。と協力したい。ありがとう。

第四回戦タイム終了五分前全国大会フリースタイルに勝つても劣らない作品が多いウィックメンズ及びウィックレイイスの力作。

第二会場のレイイス審査開始、審査用刈布がない一部の審査員採点に入つた。美しい

女性胸元の肩まで落ちたドレスも素敵、しかし審査員の目も、秩序を守る律儀が素晴らしい。アツと理性を取り戻す。「オイ刈布、刈布」真新しい水玉の刈布が各モデルに掛けられた。良かったのか何

奇抜な作品も出て良い。四回戦のレディスヘア(ウィック)及びフリースタイル競技も最後の種目、秒読みに入る頑張れ若人。時間を充分使って最後を飾れ。

長沼選手(米沢支部)来年はアイロンに挑戦したい。佐藤選手(上山支部)種目が始めてなので不安であった。来年はレディスに出場したい

柿崎選手(飽海支部)選手の皆様が上手であった。来年頑張る。

数々の想い出と若者の夢を育てた今年の大会も出場選手の持てる技術のベストを尽くし終了した。感激と友情の戦いがやがては素晴らしい追憶と成ることでしょう。良く頑張ってくれた。選手全員に賜杯にその名を列し称えたい。

県理容会館に夕陽が落ちる頃、閉会式に入る。ズッシリ重い大優勝旗を手に、細谷副理事長の開会の辞から八時間を経過、今、梅津副理事長の閉会の辞を聞く心のこもった激励の言葉。来年もきつと逢えるでしょう

友と戦える場で。



勝てる作品もある。ワインディングは全体的にオソマツ。しかし若さあふれる選手の出場が多くなった。思いきった

最上支部
村岡 博

婦人部から



高橋先生宅にて 62.4.27

婦人部が発足して、早や十二年その歳月には、初代婦人部長として五十嵐フミ先生、二代目三浦静子先生、そして今、未熟な私が先輩の指導を仰ぎながら又部員の協力を得て、去る四月二十七日(月)六十二年度最初の手芸教室を開催致しました。

今回は、小物作りとのこと、セカンドバック、ティッシュペーパー入れを高橋先生の御指導のもとで挑戦してみました。日頃仕事に追れ自分の時間を取れない人達がおしゃべりをしながらの和気合い合

いと楽しい一日でした。出来ばえも上々同じ型の中に一人一人の手作りの良さも現れ仲々味なもの……。

それぞれ自分の完成品を見て喜びもひとしおの様でした。一日で出来るものだったから、もう一度、他の小物にも挑戦して見たいとの意見もあり、又の機会にと……。

部員の親睦と共に日頃の疲れも忘れ、有意義な一日だったと喜んでおる次第です。

当支部では、婦人部、青年部の活動は目ざましいもので

婦人部の今年度の計画には老いを忘れて、ヨガ、ジャズダンス、ビニールパレー、料理教室、茶道、着付、手芸等静、動さまざま……!!

又、青年部は、昨年野球で優勝させて頂きました。

今年も早くも二連勝、V2にむけて日夜自己トレーニングしかも、九月には、県代表となつて青森での東北大会へ出場、そして今年の計画も技術講習、テニス、ボーリング、スケート、レジャーと多種多催……!! チャレンジ精神を忘れずに多に活躍を期待したいものです。

上山支部広報部長
原田 耕作
斉藤八重子



今回は長井支部です。

手芸教室



五月十一日酒田総合文化センターに於いて、飽海支部婦人部の手芸教室が開催されました。今日は天気も良いしほんとうの気持、山にでも遊びに行きたいなあと思つて居りました。が、「沖縄の紅型(ピンガタ)染物」の講習会つてどんなのか不安の中に出席しました。

講師は去年七宝焼を教えて戴きました優しい佐藤美紀子先生、この紅型は庄内では始めての講習だそうです。先生曰く紅型染は色付する迄の行程が難かしいのだそう

いのです。やはりコツがあるのです。必ずくまどり筆を大担入れることでした。一見油絵を感じさせましたけれど、これから先生が和紙をさらして染の完成品にして下さるのです。皆さんこの次にはいい作品ができる自信が持てたのじゃないでしょうか。

沖縄でも紅型染は売っているようですが、印刷物で私達が作ったものとは違うそうです。「何枚も染めていくうちに着物の見分け方が出来るようになりますよ」とおっしゃいました。そうして夢が多々広がって行くのです。

一日染色画家の皆さんの傑作が完成しました。五月十八日の理容文化展にも六点出品します。二時間の講習でしたが自作品の創造の喜びを味わい、山遊びに優るとも楽しい有意義な一日だったと思います。

飽海支部婦人部

加藤 勝子



通信課程生徒募集

- 1 入学資格 / 中学校卒業以上
- 2 在学期間 / 自 昭和62年10月
至 昭和64年9月
- 3 レポート提出先 / 東京理美容教育センター
- 4 面接授業 / 毎年2回 3月下旬
7月下旬) 1回約1週間
- 5 願書締切 / 9月20日 期日厳守
- 6 授業料 / 年3回納入(月5,600円)
1回分22,400円
- 7 入学金・設備充当金 / 50,000円

山形高等理容学校

〒990 山形市相生町8-52
TEL 0236-22-5305

婦人部総会



祉センターで去る五月十一日我が藤島支部婦人部総会も、第七回目を迎えました。

部員五十余名、来賓数名の参加を得て、さしてもの事もなく和気合い合いのうちに終りました。あいにくその日は婦人部長会議や、教育部長会議又、野球の開会式等と重なり、部長会議には佐藤副部長が代理出席し、来賓も例年より少なかったのが残念でしたが、六十二年度は県婦人部の事業としてソフトビニボール大会があると言う事です。その練習を兼ねて予選会

若葉崩え、遅咲きの八重桜や満開の藤の花の咲き乱れるここ出羽三山は山伏でおなじみの羽黒山の麓、羽黒社会福

を当婦人部の事業とする事や又当支部立川町に「山水園」という特別養護老人ホームがあり立川町理容師会で散髪奉仕を行なっておりますが、今年には踊り同好会の人達で慰問に行ったらどうか、という意見が出され皆大賛成で決議されました。

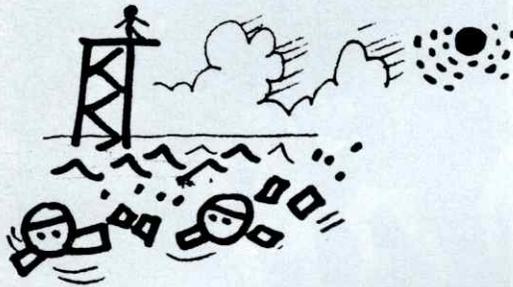
高齢化社会を迎え、明日の我が身であるかもしれない孤独なお年寄り達に少しでも喜んでもらえるならこの上もない有意義な活動になろうかと思えます。又五月十八日の環衛法施行三十周年記念式典にも出来るだけ多く参加して欲しいと五十嵐部長始め、来賓の長南支部長代理からも要請があり、都合のつく人はなるべく出席する事を約束して総会もつ、がなく終わりました

その後懇親会に入り同好会の人達の踊りも年々磨きがかかり、素晴らしい発表会となりました。又部員であり同好会の師でもある北川先生の見事な舞いには、只ため息と会場の人達も魅了するに値いあるものでした。

毎日を忙がしく過している私達にとって、何もかも忘れるひと刻は、何物にもかえが

たい休息の日でありました。明日の理容業界の展望等は語るすべもありませんが、今日一日が健やかであって欲しいと願うのは、やはり年のせいだろうか。それにしても役員の方皆さんご苦労様でした。

藤島支部
佐藤 政井



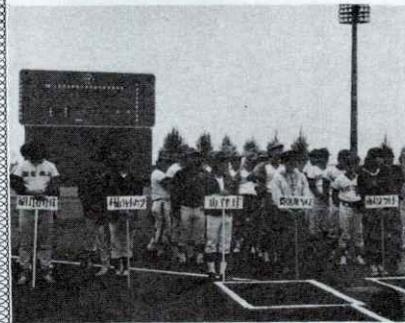
第十回野球大会開幕

去る、五月九、十日の両日で、二万六千人の観衆を集めて賑わった、日本ハム対南海ホークス戦のプロ野球の熱も冷めやらぬ、山形県野球場に於いて、翌十一日、山形県理容組合野球連盟主催の理事長杯争奪リーグ戦、第十回大会の開会式、並びに一回戦を行いました。

今年から新たに、志田修監督率いる「飽海ブルーヘアーズ」チーム、十七名の選手加盟があり、全十三チーム、二百二十八名の大参加となった第十回大会を迎え、増々親睦の輪が大きく広がった旨の挨拶が、松田貞雄野球連盟会長より有り、県組合より、梅津鶴彦副理事長が忙しい中、祝辞に駆けつけて下さいました。選手宣誓は、昨年度初優勝で意気拳がる、上山チーム主将鈴木幸夫君が力強く決めてくれました。開会式後、各チーム一回戦を行い、来年の東北大会出場権を賭けて、熱戦を繰りひろげました。これから最終戦、九月二十八日まで各地球場で試合が行われま

すので、皆様方の御声援よろしく御願致します。

野球連盟事務局
佐藤 保雄



婦人部総会

夜来の雨もあがり、初夏を

思わせる爽やかな四月二十七日、鶴岡市内の「味のアサヒ」で八十名の多数の方の出席をもとに「第五回鶴岡理容組合婦人部総会」を開催致しました。総会に先立ち、消防署の方による「心肺蘇生法の入形」を使つての人工呼吸法、止血法や、やけどの応急処置法の実演・指導があり大変勉強になりました。総会は久保婦人部長の挨拶に続き、各役員の挨拶、本間支部長の環衛法制定三十周年記念式典の事、又家族の絆と健康の有難さをご自分の経験を通してのお話しでした。行事報告、決算報告六十二年活動方針及び行事計画の順で進行、わけても昨年六月の天童における「県婦人の集い」ではハワイアン音頭のアトラクション出演もさることながら、当初の計画から無事終了までの役員の方々の御苦労は大変なものだったでしょう。

会議も終り、懇親会に入り缶ビールで乾杯。季節の料理に舌鼓を打ちながら日頃は忙しいママさん理容師達の楽しい語らいの一時を過しました

鶴岡支部婦人部

庄司 照子

ピニールバレーボール大会開催 若さでアタック大成功、汗と涙の攻防戦



ローズ VS フラワーズの白熱戦

真夏日の続く、六月八日、

碁点の村山市民体育館に、百二十四名の参加者、各班代表の八チームの選手が集まり、日頃の練習の成果を遺憾なく発揮し激戦を展開、楽しい暑い一日を過しました。以下は大会観戦記です。

昨年の総合役員会の際、県部長会議の決議事項の中で大会開催地に決定された事が沼沢部長さんから報告され、それでは婦人部の全体事業として検討し、総会に事業計画案として提示され、原案通り

可決承認されました。

その時には、もう各班とも練習に入り、競技内容、ルール、運動量、安全性等、全て理容師の私達には、最適なものとして大歓迎、各チームの情報を集め、作戦を練り、地域の若妻会の練習日に合せて練習日を作ったりした地区もあり、大変な熱の入れ様でした。

当日は、村山市民体育館は休館日でしたがそこを美人の役員さん達が説得、全館借り切つての大会、ファンファー

レと共に、役員、選手入場、の声が館内一杯に響き渡り軽快なマーチのリズムに乗って沼沢部長さんを先頭に役員、女性らしく可愛いチーム名を書き込んだブラカートの後に監督、主将、選手と重量感のある堂々の行進、整列が終り開会式がはじまりました。まず沼沢部長さんの「今日の大会を迎えるまで、役員部員の皆様のご苦労に深く感謝し、婦人部の目的であり、大会の主旨でもあります親睦を大切にし怪我のない楽しい一日であります様に、又練習に心よ

織は死んだも同然ですので、大いに活動し、練習を通して得たコミュニケーションの中から一歩進めて婦人部や支部の発展に頑張つて下さい」と挨拶があり、続いて森谷審判長さんより、ルール説明、サムはアンダーサーブで味方で一度打つてから、相手チームに入れること、得点は二十一点、サーブ権移動とともに役点も相手に加えられること等、詳しく説明があり、その後東根チェリーズの飯藤さんの元氣な選手宣誓があり、続いてクアハウス碁点の体育指導員の齊藤さんによる、ストレッツ体操、怪我のない様にと、筋肉と関節の準備運動をし、宇野組織部長さんの始球式で競技開始、楯岡ローズ対尾花沢フラワーズ、揃いのユニホームや、手書きのゼッケンを付けたリ、バンダナを頭にきりつと固く結び、三面のコートをを使用して第一回戦敗者復活戦も入れて十二試合五時間の熱戦。会場は文字通り戦場の様でした。大黒様五名揃って応援、勢い余つてネットに突っ込むコートの中

で転んだついでに大の字になる人。興奮のあまり審判に抗議を申し込んだり、勝利監督インタビュあり、惜しくも敗れ目から汗が頬を流れたり本当に勝利に賭ける女性の執念には女の私も驚くばかり、燃えに燃えた一日でした。さすが優勝した楯岡ローズチームは練習量も断然多く、全戦2対0のストレート勝ち。立派でした。今大会の為に支部では新規に大トロフィーを用意して下さり、支部役員、婦人部の皆様大変ご苦労様でした特に鈴木総務部長さんには指導頂き本当にご苦労様でした。紙面をお借りいたし厚く御礼申し上げます。六月二十九日の県大会には皆様のご来場を心からお待ち申し上げます。試合の結果は、第一位、楯岡ローズ、第二位東根チェリーズ、第三位大石田ヤングミセス、第四位大久保ヤングピーチズ、第五位袖崎ヤングレディーズ、第六位尾花沢フラワーズ、第七位尾花沢ハット、第八位混成クインズでした。いい汗を流した後の爽快な気分は格別で心身共に充実した一日でした。

北村山支部婦人部

柴田 克代